

カンガルーシップ活動
ネイバーサポートプロジェクト
実施報告書

報告日 令和元年9月19日
学校名 岐阜大学教育学部附属学校
PTA会長名 瀬川 典秀

実施概要	実施活動名	デイキャンプ お祭りで楽しいお買い物の模擬体験をしよう!!お母さんとお子さんが共に笑顔になれる時間を過ごす。
	実施日時	令和元年8月1日
	実施場所	岐阜大学特別支援教育センター
	実施目的	異年齢の生徒児童・大学生・保護者とふれあい、連携を深める。仕事についての見通しを持つ。買い物の模擬体験を通してお金のやり取りの学習。
	実施内容	出店の中でお金のやりとりの体験と小中を越えた交流。卒業生とその保護者から就労について学ぶ。
	実施方法	デイキャンプの案内とチラシを配布し、児童・生徒、兄弟、保護者の参加を募った。
	参加人数	児童・生徒、兄妹39名、保護者56名、大学生32、教職員8、講師1名 136名

報告事項	内容	<p>第一部ではお祭りをイメージしてフランクフルト、かき氷、保護者による手作りのゲーム（的入れ、ペットボトルのボーリング、ヨーヨー釣り）を行い、手作りのお金を使った買い物体験を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売は中学生が2グループに分かれて1時間ずつ担当。 ・食品は保護者が準備、調理を行う。 ・買い物をする時は、中学生、小学生混合の小グループに分かれ、大学生ボランティアに協力していただき、ゆっくりと支払いをする。 ・買い物際にはスタンプラリーを使い全部のお店を回るルール決めをした。 <p>第二部では、附属中学校卒業生3名の方にインタビュー形式で仕事について伺う。（仕事の内容や環境・考え方について、高等部で学んだこと等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場で働いている様子を事前にビデオやカメラで撮り、映像で紹介する。 ・卒業生の話しには中学2年、3年の生徒と保護者が参加。 ・座談会では、卒業生の保護者3名の方と保護者は3グループに分かれて情報交換を行う。 <p>最後に岐阜大学の神野教授よりまとめの話しを伺う</p>
	結果	<p>第一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売係をする中学生が真剣に対応している姿がとても良かった。1時間ずつの交代制でお客さんが居ない時もしっかりと立ち自分の役割を果たしていた。 ・小学生はのびのびと買い物をし、ゲームを楽しんでいる事が伝わってきた。 ・中学生が小学生を誘導したり、教えてあげるなどの姿もみられた。 <p>第二部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生は緊張しながらも一生懸命に答えてくれ、中学生も、同世代の話ということもあってか、とても興味深く聞いている姿がみられた。インタビュー形式だったため、話す側も聞く側もとてもわかりやすく進行することができた。 ・卒業生の保護者との座談会では、生の声を聞くことが出来、多くの保護者からとても良かった今後も継続して欲しいという声が多くあった。
	所感	<p>お金の支払いが出来ないという保護者の声から、お金を使ったお買い物体験を通してお金のやり取りを学ぼうと今回のデイキャンプを企画。初めての試みでお釣りが足りなくなるというハプニングもあったが、大学生や保護者の協力を得て、無事実施することが出来た。普段一緒に活動することのない小中が合同で行うことで、連携が深まった。また大学生とも交流ができ、幅広い体験ができた。</p> <p>第二部で卒業生とその保護者の生の声を聞けた事が、参加して下さった保護者の方から大変好評だった。次年度以降も実施を希望する声がほとんどで、近い将来への見通しを持ってた事が有意義であった。</p>

添付書類

参加感想、収支決算書、領収書添付シート

